



平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	6,411	37.7	536	168.5	596	199.9	242	156.5
29年5月期第3四半期	4,656	19.8	199	18.6	198	12.4	94	2.0

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 336百万円 (316.3%) 29年5月期第3四半期 80百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	50.71	
29年5月期第3四半期	19.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第3四半期	9,844	5,254	51.1
29年5月期	10,205	5,001	46.2

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 5,030百万円 29年5月期 4,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		5.00	5.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,592	26.4	561	8.0	610	12.7	356	56.0	74.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期3Q	5,055,400 株	29年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	30年5月期3Q	268,842 株	29年5月期	320,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期3Q	4,776,055 株	29年5月期3Q	4,735,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、個人消費は横ばいではあるものの総じて緩やかな景気回復が続いております。また、米国や欧州の経済も堅調に推移しておりますが、米国の長期金利上昇により、世界的に金融・資本市場に変調の兆しがみられ、先行きが不透明な状態で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,411,855千円（前年同期比37.7%増）、経常利益は596,735千円（前年同期比199.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は242,191千円（前年同期比156.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用実写映画「曇天に笑う」監督業務、劇場用アニメーション「進撃の巨人 Season 2～覚醒の咆哮～」 「ときめきレストラン☆☆☆MIRACLE6」、テレビ用アニメーション「魔法使いの嫁」「恋は雨上がりのように」等、その他ゲーム用のアニメーションを制作しました。

制作期間の長期化や視聴者に満足いただけるようクオリティを重視していること等で、制作費用が増加し厳しい状況が続いております。

以上により、当事業の売上高は3,606,035千円（前年同期比39.3%増）、セグメント損失は399,470千円（前年同期は234,669千円のセグメント損失）となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊の月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リンカーネーションの花弁7巻」「ドラゴン家を買う。2巻」等、定期月刊誌9点並びにコミックス・書籍57点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔法使いの嫁 シリーズ」「リンカーネーションの花弁 シリーズ」「曇天に笑う シリーズ」は、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は1,294,560千円（前年同期比22.6%増）、セグメント利益は349,916千円（前年同期比56.9%増）となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「魔法使いの嫁 シリーズ」「進撃の巨人 シリーズ」「黒子のバスケ シリーズ」「宇宙戦艦ヤマト シリーズ」「ハイキュー!! シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

特に「魔法使いの嫁 シリーズ」は海外販売を中心に好調でありました。

以上により、当事業の売上高は1,318,393千円（前年同期比78.5%増）、セグメント利益は687,627千円（前年同期比178.6%増）となりました。

④ その他

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は192,866千円（前年同期比29.3%減）となり、セグメント損失は20,846千円（前年同期は42,270千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ360,926千円減少し9,844,126千円となりました。主な要因は仕掛品が399,637千円、前渡金が165,242千円増加し、一方、現金及び預金が555,287千円、受取手形及び売掛金が372,244千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ614,030千円減少し4,589,145千円となりました。主な要因は受注損失引当金が225,648千円、短期借入金が200,000千円増加し、一方、買掛金が579,801千円、前受金が261,252千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ253,103千円増加し5,254,980千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が217,516千円増加し、一方、従業員インセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度の株式給付等により自己株式が89,699千円、非支配株主持分が57,717千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、平成28年7月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,840,639	3,285,351
受取手形及び売掛金	1,372,057	999,812
商品及び製品	163,716	149,208
仕掛品	1,811,697	2,211,334
貯蔵品	8,572	8,161
前渡金	130,762	296,005
繰延税金資産	85,243	87,830
その他	395,025	145,365
貸倒引当金	△5,432	△6,022
流動資産合計	7,802,281	7,177,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	529,493	543,425
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	246,516	247,830
その他(純額)	34,734	28,043
有形固定資産合計	1,468,906	1,477,461
無形固定資産		
コンテンツ資産	522,878	779,234
のれん	8,654	—
その他	16,677	36,611
無形固定資産合計	548,209	815,846
投資その他の資産		
投資有価証券	111,996	105,996
その他	313,850	307,967
貸倒引当金	△40,191	△40,191
投資その他の資産合計	385,655	373,771
固定資産合計	2,402,771	2,667,079
資産合計	10,205,053	9,844,126

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,081,575	501,773
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	273,320	273,320
未払金	358,451	392,537
未払法人税等	162,336	115,722
前受金	2,279,483	2,018,230
預り金	300,619	208,041
賞与引当金	3,900	52,908
役員賞与引当金	33,584	3,890
株式給付引当金	95,004	—
返品調整引当金	45,063	54,093
受注損失引当金	111,870	337,519
その他	210,196	208,802
流動負債合計	4,955,404	4,366,840
固定負債		
長期借入金	120,322	65,332
退職給付に係る負債	51,097	51,242
役員退職慰労引当金	39,398	42,620
その他	36,953	63,110
固定負債合計	247,771	222,305
負債合計	5,203,175	4,589,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,422,970	2,640,486
自己株式	△420,870	△331,170
株主資本合計	4,706,269	5,013,485
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,011	16,615
その他の包括利益累計額合計	13,011	16,615
非支配株主持分	282,596	224,879
純資産合計	5,001,877	5,254,980
負債純資産合計	10,205,053	9,844,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	4,656,197	6,411,855
売上原価	3,740,974	5,144,931
売上総利益	915,222	1,266,924
返品調整引当金繰入額	—	9,030
返品調整引当金戻入額	14,300	—
差引売上総利益	929,522	1,257,894
販売費及び一般管理費	729,706	721,302
営業利益	199,816	536,592
営業外収益		
受取利息	543	152
受取賃貸料	27,933	27,958
補助金収入	—	48,986
その他	3,672	11,019
営業外収益合計	32,148	88,116
営業外費用		
支払利息	2,091	1,661
為替差損	10,831	3,214
賃貸収入原価	18,370	16,763
その他	1,705	6,334
営業外費用合計	32,999	27,973
経常利益	198,966	596,735
特別利益		
固定資産売却益	30,264	—
関係会社清算益	—	17,880
特別利益合計	30,264	17,880
特別損失		
減損損失	—	29,191
特別損失合計	—	29,191
税金等調整前四半期純利益	229,231	585,424
法人税、住民税及び事業税	142,768	244,542
法人税等調整額	6,986	8,125
法人税等合計	149,755	252,667
四半期純利益	79,475	332,756
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,935	90,565
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,410	242,191

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	79,475	332,756
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,324	3,604
その他の包括利益合計	1,324	3,604
四半期包括利益	80,800	336,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,735	245,796
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,935	90,565

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,588,668	1,056,156	738,571	4,383,397	272,800	4,656,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,588,668	1,056,156	738,571	4,383,397	272,800	4,656,197
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△234,669	223,038	246,851	235,220	42,270	277,491

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	235,220
「その他」の区分の利益	42,270
のれんの償却額	△12,981
全社費用(注)	△64,694
四半期連結損益計算書の営業利益	199,816

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,606,035	1,294,560	1,318,393	6,218,989	192,866	6,411,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,606,035	1,294,560	1,318,393	6,218,989	192,866	6,411,855
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△399,470	349,916	687,627	638,073	△20,846	617,226

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	638,073
「その他」の区分の利益	△20,846
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△71,980
四半期連結損益計算書の営業利益	536,592

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失29,191千円を計上しております。